

フランス語 I・II 共通指導項目

フランス語とフランス文化の学習をします。

この授業の目標は自主性を養い、自立した学習者になるための観察力、適応力を身に付けていくことにあります。そして外国語に限らず、あらゆる形のコミュニケーションに共通する基本的態度と技術を磨いていきます。

最も大切なことは、モチベーション（やる気・動機）と参加です。

1年次フランス語では、欧州共通言語学習基準枠で「発見段階」A1レベルとして規定されている以下の事項を到達目標に定め、それぞれのスキルをバランス良く学習していきます。

- 聞く：会話の相手がゆっくり、はっきり話してくれれば、日常生活の身近な語彙や表現を聞き取れる。
- 読む：簡単な文章を読み、理解できる。
- 話す：会話に協力的な相手（ゆっくり話してくれる、繰り返してくれる）と、日常生活に必要な情報のやりとりができる。自分自身や家族について語るができる。
- 書く：はがきが書ける。アンケートや書類に必要事項を記入できる。

授業で扱う具体的な内容

- ・表現とコミュニケーションの種類
 - 挨拶
 - 自己紹介 / 紹介； 相手、誰かについて尋ねる； 始めて話す相手と、仕事や趣味の話をする
 - 行く先：場所を尋ねる / 教える； 開いている時間を尋ねる
 - 買い物：物を示す / 物の名前を聞く / 情報を求める
 - 飲食：レストランやカフェでメニューについて尋ねる； 注文する； 満足を表す
- ・文法
 - 語順
 - 主語人称代名詞
 - 人称代名詞強勢形
 - 二人称代名詞 tu と vous
 - 名詞・形容詞の性と数
 - c'est（これは～です）と il y a（～がある）
 - 動詞の現在形： être（である） avoir（持っている） -er規則動詞、 aller（行く） venir（来る） pouvoir（できる） vouloir（欲しい、したい） faire（する、作る） prendre（食べる・飲む・乗る） savoir / connaître（知っている）
 - 定冠詞・不定冠詞・部分冠詞
 - いくつかの前置詞
 - 前置詞と定冠詞の合体

- 疑問文と否定文
- 命令形
- 所有形容詞・指示形容詞
- 疑問代名詞 que, qui
- 疑問形容詞 quel・疑問副詞
- 頻度の表現
- 直接目的補語・間接目的補語

- ・ 語彙
 - 教科書各課のテーマ別基本語彙

- ・ 発音と音読
 - アルファベットの発音・音節・音読・イントネーションとリズム
 - リエゾンとアンシェヌマン

- ・ 文化
 - フランスおよびフランス語圏の文化的諸側面

1年次に引き続きフランス語とフランス文化の学習をします。

授業の目標は、1年次の学習に引き続き、約45時間の学習時間内で、欧州共通言語学習基準枠の「発見段階」A1に示されたコミュニケーション・スキル(1年次フランス語Ⅰ・Ⅱ共通シラバス参照)を段階的に、確実に習得していくことです。文法面では、とりわけ扱う動詞の時制が大幅に増え(近接過去・未来、単純未来、複合過去、半過去)、語彙数も飛躍的に増加します。それらは全て、あるコミュニケーションの目的に沿って学習され、得られた知識と技能は、現実性が高く、実際の使用に直結するものです。

授業で扱う具体的な内容

・表現とコミュニケーションの種類

- 提案する；誰かについてたずねる・教える；友人宅訪問・家を案内する
- 人に贈り物をする；助言を求める；洋服を買う・サイズを言う；助言する；意見を言う；
予定を立てる；願い・希望を言う
- 天気の表現；時間の表現；場所の比較；場所について意見を述べる；状況の比較；理由を述べる
- 思い出を語る；何かを説明する；履歴書；感情の表現；出来事を語る

・文法

- 代名動詞
- 疑問詞「何」「誰」「どこ」「いつ」
- 中性代名詞 en, y, le
- 命令法；否定命令文；命令文中の目的語の位置
- 比較級；最上級
- 疑問詞
- 単純未来
- 非人称動詞
- 近接未来と近接過去
- 複合過去
- 半過去；副詞の位置
- 単純未来
- 条件法；願望を表す条件法

・語彙

- 家族；住居
- プレゼント；パーティー・お祝い；好み；店；衣服；旅行；遊び；夢
- 天気・気候；生活様式；パリと地方；一年；人々；フランスとフランス語圏
- 子供時代；休暇；ペット；仕事・学業；就職活動；親戚；警察；トラブル

・文化

- フランスおよびフランス語圏の文化的諸側面（フランス人の日常生活；パリと地方；年中行事や習慣；余暇；ジャーナリズム；世界の中のフランス etc.）